

南小だより さわやかなあいさつ・きれいな学校

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

今月の生活目標

やさしい子

『外で元気に遊ぼう。』

たくましい子

平成27年1月30日

第12号

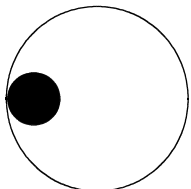
川越市立高階南小学校

ワクワク大作戦！～子どもたちの力を引き出す～

新春の箱根駅伝で初優勝を果たした青山学院大学の快挙は記憶に新しいところ
です。その采配をとった原晋監督の指導方法も大きな話題となりました。
「ワクワク大作戦」現代っ子の学生たちの気持ちを高め、持てる力を最大限に
発揮させるこのキャッチフレーズは、苦しい練習と根性に代表される、駅伝の重
苦しさを吹き飛ばす、新鮮な驚きを持って称賛されました。選手も観客もわくわ
く、どきどきするレースをしようというもので、伸び伸びとした雰囲気
に勢いを与え、選手の力を存分に引き出しているように感じました。
記録づくめの優勝は、某電力会社でサラリーマンだった原監督が、営業畑で成
功したビジネス手法を持ち込み、合理的な指導で選手を束ねた結果が結果したも
のでしょう。各区分が20kmにも及ぶ箱根駅伝は、地道な練習の成果であるこ
とに違いないのですが、この「ワクワク」という言葉には、人の気持ちを惹き付
ける魅力があるように感じます。実際には、緻密な練習計画と、理論に裏打ちさ
れた猛練習こそが優勝の原動力です。しかし、もう一つの側面である、熱く夢を
語り「ワクワク」という言葉に代表されるような選手のやる気を奮い立たせる巧
みな采配が、今回の好結果を引き寄せました。卓越した理論と情熱の両輪で、就
任11年目にチームを完全優勝へ導いた原監督の指導方法。そこには、私たち大
人が、子どもたちの力を引き出す極意が詰まっているような気がします。

白い部分を広げる。～学校保健委員会より～

1月29日(木)、十文字学園女子大学人間生活学部准教授の加藤陽子先生をお迎
えして、平成26年度第2回学校保健委員会を実施いたしました。



この日のテーマは「子どもたちの心の世界を探求しよう！
～ぼくたち・わたしたちの気持ちもわかってよ～」でした。
先生のわかりやすいお話と具体的な事例に参加してくださ
った保護者の方のうなずく姿が数多く見られました。

小学校入学から卒業まで、幼児期から児童期そして思春期
を迎える子どもたちとの心の距離をつかみかね、対応に悩ん
でいらっしゃる方にとって、大変参考になる充実した内容でした。子どもたちと
上手にかかわるコツ、何を心がければいいのかという視点で、なるほどと思われ
る手立てが歯切れ良く示されました。

●の部分をも無理に○にひっくり返そうとプレッシャーをかけるより、○の部分
を増やすことが大切だというお話でした。白い部分を広げることで、相対的に●の
部分は小さくなる、針の穴のように見えるようになるかもしれない。我が意を得
たりという思いを強くしました。

そのためには、子どもをよく見ること。特に「いいところ」に気付くことが大
切です。

「うちの子どものいいところはズバリ～です。」

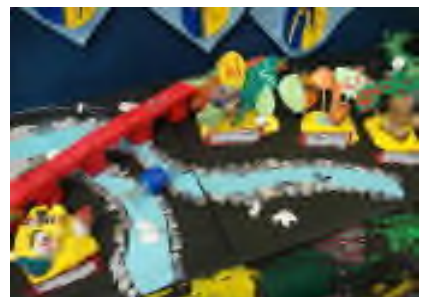
子育ては、大人になった私たちが、大人への階段を登るわが子に寄り添うこと
で、その成長を肌で感じることができる魅力的な営みなのですね。



フレンドリー活動



ありがとうの会



花の子 合同作品展